

2021 年度 事業報告

2021 年度を振り返りますと新型コロナウイルス感染症拡大が収まらず、緊急事態宣言発令の中、東京オリンピック・パラリンピックは開催したものの、残念ながら「三重とこわか国体」、「三重とこわか大会」については中止となりました。協会の活動でも「親子クッキングコンテスト三重実技大会」、「いただきます応援宣言 for kids」などのお客様とのふれあい事業や「高圧ガス実験・訓練」が中止を余儀なくされました。

そのような中、当協会では「三重県LPガス協会新型コロナウイルス対策ガイドライン」を会員事業者にも周知して感染拡大を防止しつつ、LPガスの安定供給と保安の確保に努めました。災害対策面では、過去の自然災害で集中豪雨による河川の氾濫、土砂崩れなどによって顧客の軒先から容器流出が発生したことを受けて液石法施行規則が改正(12月1日施行)され、容器流出防止措置を講ずることとなりました。また、6月には取引適正化を推進するために賃貸集合住宅におけるLPガス料金の不動産管理会社等への情報提供について経済産業省・国土交通省から依頼文書が発出されました。

業界を取り巻く環境としては、2050年カーボンニュートラル対応が求められており、全国LPガス協会内に設置された検討会の検討状況やCO₂削減に繋がるエネファームのセミナー案内等各種情報を協会ホームページで提供させていただきました。

その他、当協会ではお客様から選択されるエネルギーとなるべく、保安の確保、取引適正化、快適な生活提案などLPガスブランド力向上の活動に加えて、「災害対策要綱・マニュアル」の整備を図るなどの災害対策にも注力してまいりました。

2021年度事業活動及び委員会活動は以下のとおりです。

(注)中止した事業には(▲)、規模を縮小した事業には(△)を付してあります。

■需要開発委員会

需要開発委員会では、LPガスの更なる需要拡大とLPガスによる豊かな暮らし、快適・便利で安全な暮らしをお客様に提供するための活動を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、2020年度に続いて中止せざるを得ない活動がありました。

1. 需要開発推進運動

(1) 食育活動「いただきます応援宣言 for kids」(▲)

未来を担う子供達に日本の食文化を伝えていくことを目的に、日本独特の文化とされる「いただきます」「ごちそうさま」のことばの意味やお箸の正しい使い方の出前授業を社会貢献活動として実施してまいりましたが、前年度に続き2021年度も新型コロナウイルス感染症拡大のため中止しました。

(2) 火育活動「炎に学ぼう！」

炎の文化継承を目的にいなべ市立阿下喜小学校の児童を対象に青年委員会が企画・実施しました。当委員会も火育活動の拡大と充実のため、卸売協議会と共に支援をしました。(2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施を見合わせました。)

第 1 号議案

(3) 全国親子クッキングコンテスト (△)

2014 年度から県立相可高校の全面協力を得て、食物調理科の先生、生徒の皆さんに審査員やサポートをしていただき、親子で楽しく、L P ガスの炎で美味しい料理を作る実技コンテストを開催してきました。残念ながら、2021 年度は新型コロナウイルス感染予防により実技審査を止め、レシピコンテストに変更して実施することになったため、三重実技大会は中止しました。レシピコンテストに応募いただいた作品の中から優勝されたチームが三重県代表として東海地区レシピコンテストに進出しました。

(注) 東海地区優勝は東邦ガス選出の刈谷市在住の親子チーム

2. 高効率機器の普及促進活動

2050 年カーボンニュートラル(温室効果ガス排出と吸収で実質ゼロ)方針に基づき、CO₂ 削減可能な機器の普及促進を図るため、エネファームの技術講演会を開催しました。(政治連盟セミナーとして 11 月 30 日(火)に開催)

また、GHP の自治体への普及促進を図るため、災害時対応機器備蓄事業を通して自治体防災担当部署へ P R を実施しました。加えて、三重県・自民党三重県支部に対し政策要望として、学校体育館(避難所)や公共施設への GHP 設置、高効率ガス機器の利用推進の要望書を提出しました。

■流通委員会

流通委員会では、お客様との良好な関係を図るべく、会員事業者に向けて取引適正化指針・L P ガス販売指針の周知に努めました。また、お客様相談所ではお客様からの問い合わせ、困りごと相談の対応など積極的に幅広く活動しました。

1. 業界の発展基盤の強化

(1) お客様相談所

お客様相談所を継続開設し、消費者からの多様な相談に応え、業界への理解と地位向上を目的に事業を行いました。

- ・ 相談件数 42 件 (前年度比 △23 件)

主な増減は、L P ガスの価格についての相談件数が前年比 △14 件となっています。

- ・ お客様相談所委員会の開催 (▲)

1 月 21 日(金)、ホテルグリーンパーク津で消費者代表として三重県地域婦人団体連絡協議会、四日市消費者協会、また行政担当委員として三重県消費生活センター、三重県防災対策部消防・保安課を招いて開催を予定していましたが、三重県に新型コロナウイルス感染拡大による「まん延防止等重点措置」発出を受けて中止しました。

(2) 中部地方 L P ガス懇談会

- ・ 開催日時 10 月 7 日(木) 13:30~15:30
- ・ 開催場所 Web によるリモート会議
- ・ 出席者 消費者委員、事業者委員、学識経験者委員、自治体(保安担当)、自治体(消費生活担当)、資源エネルギー庁、経済産業局、事務局 計 28 名

(注) 中井会長が三重県の事業者委員として出席しました。

第 1 号議案

(3) 広報活動

三重県独自のキャラクター（エルくん、ピーくん、ジークン）を用いたオリジナルCMと全国LPガス協会が制作したCMを三重テレビ放送で通年、放映いたしました。

新聞広告については従来通り3県（愛知・岐阜・三重）が合同で企画し、中日新聞へ10月10日（日）（LPガスの日）に掲載いたしました。

■保安委員会

保安委員会では、保安の確保はLPガス事業の基盤であり、お客様に安全・安心をお届けすべく、自主保安をさらに高度化することで、選ばれる業界・選ばれる事業者を目指し、以下の事業を推進しました。

1. 保安の確保の充実

(1) 保安啓蒙活動補助金事業（△）

各地域における保安啓蒙活動への支援として補助金制度を設けておりますが、前年度に続き2021年度も新型コロナウイルス感染拡大により各地でイベントの中止が相次ぎ、制度の利用が低調となりました。（実績：松阪協議会、1事業で活用）

(2) LPガス安心サポート推進運動

全国LPガス協会が2021年度より新たに5年間にわたって取り組む活動ですが、「業務用施設ガス警報器連動遮断の推進」、「業務用換気警報器の設置促進」、「軒先容器の流出防止対策の徹底」を重点的に取り組むほか、国の高度化計画に示されたアクションプランを推進することになっています。そのためには「自主保安活動チェックシート」を活用して自らが保安面での評価を適切に行い、項目ごとに強い点の一層の向上と弱い点の改善策を図って事故防止対策に繋げていくことに取り組みました。

- ・ 回収率 三重県 91.5 % （全国平均 91.5 %）
- ・ 総合点 三重県 64.5 点 （全国平均 68.1 点）

(3) 地域保安指導事業（△）

前年度に続き2021年度も新型コロナウイルス感染防止対策として集まったの講習会を取り止め、e-ラーニングでの講習を行いました。

受講登録者は109名で「法令指導」、「保安業務指導」、「CO中毒事故防止」、「LPガス災害対策」の4つのコンテンツの中から選択して講習を受講していただきました。

（注）受講期間は1月24日（月）～2月24日（木）

■災害対策等委員会

災害対策等委員会では、喫緊の課題とされる「南海トラフ巨大地震」、近年頻発する集中豪雨などの対策整備が急務であり、地域協議会とともに県及び関係機関との連携、中核充填所との連携整備を中心に主体的に活動しました。

1. 災害時における対応強化

(1) 災害時対応機器備蓄

社会貢献活動として、8月4日（水）に川越町、11月8日（月）に桑名市へ災害時対応機器を備蓄しました。

第 1 号議案

年 度	備 蓄 先
2012 年	尾鷲市 尾鷲市防災センター 南伊勢町 旧町立五ヶ所中学校
2013 年	熊野市 市立木本中学校 鳥羽市 旧鳥羽小学校跡地
2014 年	伊勢市 光の街コミュニティセンター 紀北町 紀北町役場
2015 年	志摩市 志摩市鶴方防災児童公園 大紀町 錦支所
2016 年	松阪市 鈴の森公園 駐車場 明和町 明和町総合体育館
2017 年	四日市市 南部拠点防災倉庫 —
2018 年	木曾岬町 木曾岬町防災センター —
2019 年	津市 津南防災コミュニティセンター —
2020 年	鈴鹿市 武道館 屋外倉庫 ^(注) (注)AGF 鈴鹿体育館より移設
2021 年	川越町 総合体育館 屋外倉庫 桑名市 防災拠点施設 倉庫棟

(2) 災害に備えた訓練

販売事業者、充填所を対象に 10 月 19 日 (火)「中核充填所稼働訓練日」、3 月 11 日 (木)「東日本大震災発災日」の 2 回、情報伝達訓練を実施しました。定期的に情報伝達訓練を実施することで各地域協議会との連携も進み、実効性の向上が図られました。

(3) 災害対策の整備

各地域協議会の緊急通行車両について車両の更新・変更等の確認作業を実施し、対象車両の事前届出申請を行うなど体制整備を実施しました。(事前届出済の緊急通行車両については災害時、簡単な手続きで交通規制が引かれた時でも通行が可能になるほか、中核給油所から優先的に燃料供給を受けることができます。)

■中核充填所委員会

中核充填所委員会では、中核充填所相互及び一般充填所との連携を強化しつつ、東日本大震災や西日本集中豪雨、北海道胆振東部地震等で洗い出された課題や教訓を踏まえた実践的な訓練の実施に努めました。

また、災害時に備えて行政や関係機関、第 4 地域(東海 3 県、北陸 2 県)や全国 L P ガス協会とも連携した活動に取り組みました。

1. 災害時石油ガス供給連携計画(石油の備蓄の確保等に関する法律)に基づく実施訓練

(1) 三重県中核充填所稼働訓練

10 月 19 日 (火)、アポロ興産(株)をメイン会場として、また他の 10 ヶ所の中核充填所をサブ会場として稼働訓練を実施し、中部経済産業局、三重県防災対策部、伊賀市、伊賀市消防本部、伊賀警察署などの方々にも訓練を見学いただきました。

(2) 第 4 地域石油ガス供給連携計画に基づく防災訓練

11 月 16 日 (火)、経済産業省の実施勧告を受けて、三重県南方沖を震源とする震度 7 の地震発生を想定した第 4 地域情報伝達訓練を実施しました。

(3) 石油ガス地域防災対応体制整備事業(中核充填所整備補助金事業)

各地域における協議体制の整備等及び地域防災訓練実施を行うための事業費補助金を受け、稼働訓練機材及び防災機器を整備しました。

第1号議案

(4) 高圧ガス実験・訓練 (▲)

三重県高圧ガス安全協会が主催する高圧ガス実験・訓練へ青年委員会を中心としたメンバーによる参加を計画していましたが、前年度に続き 2021 年度も新型コロナウイルス感染拡大のため中止となりました。

■総務委員会

総務委員会では、組織としてのコンプライアンス、ガバナンスを重視し、会員サービスの拡充、会員支援、業界情報の発信など健全な運営を目指してまいりました。また、協会建物、施設、備品等の適正な維持管理に努めました。

(1) 「LPニュースみえ」の発刊(7月、1月の2回発刊)

(2) 会員サービスの拡充

政治連盟セミナーにて自然災害によるLPガス供給設備の損害を対象として導入した新保険制度「LPライフNEO」の紹介を実施するなど加入促進に努めました。

(3) 協会建物及び施設の適正な維持管理

- 会館の外壁塗装工事を完了しました。(施工期間：10～11月)
- 会館の汚水・排水管の合併処理浄化槽から公共下水への切替工事を完了しました。(施工期間：10月)
- 屋外の電気引込ポール改修工事を完了しました。(施工期間：12月)(注)予算外

(4) 協会ホームページの活用

全国LPガス協会、KHK、三重県からの新型コロナウイルス感染予防・対策などについての要請や案内をタイムリーにホームページへアップするなど活用に努めました。

また、液石法施行規則の改正や経済産業省からの通達などについてもホームページを活用し、速やかな周知に努めました。

(5) 政治連盟セミナーの開催

11月30日(火)、エルピーガス会館において政治連盟セミナーを開催しました。

第1部 技術講演会 「エネファームのご紹介」 パナソニック(株)

第2部 保険説明会「LPライフNEO、ほか」 損害保険ジャパン(株)

■青年委員会

青年委員会では、エネルギー間競争の激化、省エネ志向の進展、人口の減少などによりLPガス需要の緩やかな減少傾向が続く中、次世代を担う後継者を育成すべく様々な活動を進めてまいりました。一方、各地域では委員不足により活動が停滞しております。そのような状況下、現実的な問題を取り上げた研修活動等に取り組みました。

(1) 研修会「同業に学ぼう！」〈三重県卸売協議会との共同開催〉(▲)

業界の置かれた環境が激変し、ますますエネルギー間競争が激化する中、次世代にLPガスが勝ち残っていくために今、何を考え、どんな行動をするかの契機とすべく毎年企画しておりましたが、前年度に続き 2021 年度も新型コロナウイルス感染拡大のため中止しました。

第1号議案

(2) 火育活動「炎に学ぼう！」

前年度は新型コロナウイルス感染拡大のため実施できませんでしたが、2021年度は従来通り炎の文化継承を目的とした火起こし体験等の出前授業を実施しました。

- ・11月17日(水)「いなべ市立 阿下喜小学校」 参加者 5年生、6年生 47名

■公益目的支出計画に定めた主な実施事業

1. 公益目的財産額と公益目的支出計画実施状況

- | | |
|---------------|---------------------------|
| ① 認可時公益目的財産額 | 112,800,235 円 (2013年6月確定) |
| 公益目的支出計画の実施期間 | 16年間 |
| ② 期首公益目的財産額 | 37,060,862 円 |
| 当期公益目的支出額 | 6,286,090 円 |
| ③ 期末公益目的財産額 | 30,774,772 円 |

(1) 継続事業1 災害対策事業

(被災時の初期対応及びライフラインとしてのLPガスの復旧支援事業等)

① 災害時対応機器備蓄事業

- ・8月4日(水) 川越町/総合体育館 屋外倉庫
- ・11月8日(月) 桑名市/防災拠点施設 倉庫棟

(2) 継続事業2 広報事業

(機器の適正な管理による保安の確保、エネルギーの賢い使用方法等についての紹介)

① 広報事業

- ・7月~3月 三重テレビ オリジナルCM、全国LPガス協会作成CMの放映
- ・中日新聞への広告掲載(愛知県、岐阜県、三重県共同事業)

② 食育活動「いただきます。応援宣言 for kids」(▲)

- ・新型コロナウイルス感染予防のため中止

③ 火育活動「炎に学ぼう！」

- ・11月17日(水)「いなべ市立 阿下喜小学校」 参加者 5年生、6年生 47名

(3) 継続事業3 啓蒙事業

(広報事業との連携事業、展示会や講演などによる保安啓蒙活動)

① 地域保安啓蒙活動補助金事業(△)

- ・イベント中止の影響があり、補助金として支援したのは1事業

② 全国親子クッキングコンテスト(△)

- ・新型コロナウイルス感染予防のため、東海地区レシピコンテストに変更して実施

以上